



北山村 議会だより



北山保育所入園式（4月6日）

令和2年3月定例会が開催されました

令和2年度当初予算案・平成31年度補正予算案
条例制定案・改正案等を審議/可決 P 2

定例会・委員会での協議内容 P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和2年3月定例会

～令和2年度予算等を審議・可決～

本定例会は、3月9日から11日（会期3日間）まで開催されました。9日の開会日は、諸般の報告として、村長の施政方針並びに提案理由の説明、教育長の教育方針の説明が行われました。その後、議案の審議となり、条例の制定及び一部改正、指定管理者の指定、平成31年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案、令和2年度一般会計及び特別会計の当初予算に関する議案など合計31件の議案が上程され、すべての議案が原案どおり可決承認されました。

10日の休会をはさみ、3日目の11日は一般質問が行われ、山口廣一郎議員、藪本英明議員、前岡武津雄議員、久保学議員の順に登壇し村行政についての質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 承認第 1 号 専決処分の承認について（平成31年度北山村一般会計補正予算（第5号））
- 議案第 1 号 北山村公営住宅管理基金条例の制定について
- 議案第 2 号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- 議案第 3 号 北山村印鑑条例の一部改正について
- 議案第 4 号 北山村使用料及び加入金の徴収に関する条例の一部改正について
- 議案第 5 号 北山村自然環境満喫型滞在施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 議案第 6 号 北山村森林体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 議案第 7 号 北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第 8 号 東牟婁郡町村新宮市老人福祉施設事務組合理約の変更について
- 議案第 9 号 北山村おくとろ公園旧売店の指定管理者の指定について
- 議案第10号 北山村おくとろ温泉施設等の指定管理者の指定について
- 議案第11号 財産の処分について議会の議決を求めることについて
- 議案第12号 北山村過疎地域自立促進計画の変更について
- 議案第13号 平成31年度北山村一般会計補正予算（第6号）について
- 議案第14号 平成31年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第15号 平成31年度北山村介護保険特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第16号 平成31年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第17号 平成31年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第18号 平成31年度北山村簡易水道特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第19号 平成31年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第5号）について
- 議案第20号 令和2年度北山村一般会計当初予算について
- 議案第21号 令和2年度北山村国民健康保険特別会計当初予算について
- 議案第22号 令和2年度北山村介護保険特別会計当初予算について
- 議案第23号 令和2年度北山村後期高齢者医療特別会計当初予算について
- 議案第24号 令和2年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計当初予算について
- 議案第25号 令和2年度北山村簡易水道特別会計当初予算について
- 議案第26号 令和2年度北山村地域振興事業特別会計当初予算について
- 選 第 1 号 北山村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- 発議第 1 号 北山村議会委員会条例の一部を改正する条例について
- 発議第 2 号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
- 発議第 3 号 水利使用に関する意見聴取に地元同意を追加する河川法の改正を求める意見書について

予算について議員が問う！

全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】ふるさと納税について、令和2年度は村への寄付額をどのくらい見込んでいますか？

【回答】令和2年度のふるさと納税額は2億2千万円を見込んでおり、その内じゃばらいず北山への業務委託料として60%の1億3千2百万が支払われ、40%の8千8百万がふるさとむらづくり基金に積み立てられ各種事業に充当されます。

【質問】起債額が12億円と多額になっているが、健全な財政運営となっているか？

【回答】実質公債費比率は2.8%と県内で最も低い値となっているが、今後、じゃばら加工場や大沼集合住宅など大型の建設事業が予定されており過疎対策債が大幅に増加するので実質公債費比率は6〜8%まで上がると見込まれる。今後、起債の償還に対する交付税措置や財政状況に留意していきたい。

【質問】森林環境税で実施する施業はどのようなものか？防災の面からも里山を施業してもら

いたいが。

【回答】対象とする山林は所有者が分からなく手が付けられない山林が対象です。

里山については別に村が実施要項を定める里山整備事業があるので、希望があれば区として要望を上げていただきたい。

【質問】おくとろ温泉の運営が北山振興（株）になるが、どういう理由か？

【回答】令和3年度から村外の民間業者に指定管理を予定しているが、移行期間として、一旦北山振興に指定管理して様子を見ることにしている。この1年で民営化についての検討していきたい。

【質問】おくとろ温泉の入浴料が100円値上げされたがどのような理由か？

【回答】周辺の温泉と比較して600円から700円に値上げを実施しました。ただし、村民の料金は変更ありません。

議会から内閣・国会等に意見書を提出！

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

【要旨】現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効する。過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要であり、新たな過疎対策法の制定を要望する。

提出者 山口廣一郎議員

賛成者 前岡武津雄議員

提出先

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣

水利使用に関する意見聴取に地元同意を追加する河川法の改正を求める

【要旨】現行の「河川法」は公共の安全、福祉を増進することを目的として制定されたが、50年余りが経過し、社会情勢や河川環境、気象状況も大きく変化した。近年の度重なる集中豪雨や台風襲来時における災害はどこで起きても不思議ではなく、またダム湖内の堆砂等に起因した様々な諸問題が周辺自治体にもたらされている。

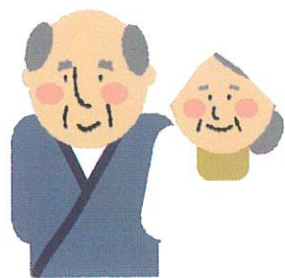
本来、ダムの安定した運用には、関係地元自治体や地域住民の理解・協力が不可欠であるので、今後、水利権更新の際には、関係地元自治体の同意を必要とすることを河川法に明記するよう要望する。

提出者 久保學議員

賛成者 藪本英明議員

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・国土交通大臣・経済産業大臣



一般質問

移住定住促進について

山口 廣一郎

【質問】移住者、特に若者、子供のいる家族連れの定住を促進するための住宅確保の制度はどのようなものか？

【答弁】村の移住定住支援については、総務課に空き家の相談窓口を設置して移住をサポートできる体制をとっている。

住宅確保の制度としては、住宅取得補助金があり取得にかかる費用の10%を補助する制度（補助金の上限は20万円）と、空き家改修補助金として改修費用の50%を補助する制度（補助金の上限は100万円）となっている。どちらも45歳未満の方が対象（住宅取得は小学生以下の子供がいる方も対象）で、小学生以下の子供一人に対して25万円の加算額がある。

（尾中総務課長）



【質問】若者の定住を促進するため、空き家を活用した住宅の確保を考えているか？また、今後の住宅制度の見通しはどうか？

【答弁】施政方針でも述べたが、定住促進は大変重要なことだと考えている。若者の受け入れについては就労と合わせた受け入れが必要で、今後じゃばら耕作地の確保と合わせてじゃばら生産者として移住者の受け入れを考えている。

今後は村営住宅の建設は実施しない方向である。村営住宅の建設には一軒当たり3千万円程度の費用が必要で、その費用を別の形で有効活用して、民家を活用して若者を受け入れていきたい。（山口村長）

【質問】空き家解体の補助金の利用状況は？

【答弁】これまで2件実施されており、現在1件の申請がある。防災の面からも危険な家屋の解体を促進しているので活用していきたい。（尾中総務課長）

一般質問

自動運転の実証実験について
急傾斜事業の未実施の部分について
観光立村のためのおもてなしについて
スポーツイベントについて

藪本 英明

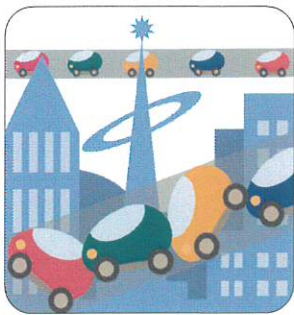
2020年4月に公募される自動運転実証実験への公募に応募してはどうか。

【答弁】国においてはまだ詳細が公表されていないので、公募の条件が明らかになった時点で、参加するかどうか検討する。

農業分野においては、自走式草刈り機、自動運搬機、遠隔自動散水や農薬散布システムなど最新テクノロジーを導入するため、既に実験が行われている。じゃばら農園においても、近い将来そういったテクノロジーの導入も視野に入れ、担い手不足の解消、収穫量の向上に取り組んでいきたい。（山口村長）

急傾斜事業の未成部分については、以前に地権者の協力を得られなかった箇所があるので、その箇所について関係者より要望があるので再度事業化を要望します。

【答弁】現在、竹原工区において和歌山県により急傾斜事業を実施していただいている。下尾井工区については一旦終了しているが、事業の再開は可能。村としても地元住民の要望、同意があれば、県に要望していきたい。（北岡産業建設課長）



観光シーズンを迎えておもてなしの気持ち伝えるために
 ①国道の歩道の陥没等箇所があるのを観光シーズンまでに改修をした方が良いのでは。
 ②Yショップの営業時間・品揃えについて季節にに応じて延長及び品揃え、品数の検討とインバウンド客も増加傾向にあるので商品の英語表記も必要なのではないか。
 ③国道、その周辺並びに村有地の景観が悪いので草刈り等の対策をお願いしたい。

【答弁】①国道の歩道の陥没については、和歌山県に早急に改善していただけるように要望します。(北岡産業建設課長)

②Yショップの営業時間については、入店利用客数のデータに基づき、夏場が午前9時～午後7時まで、冬場が午前9時～午後6時30分までとなっています。もう少し早くという意見があるが、人件費、電気代などの経費に見合う売り上げが見込めないという面、働く人の確保が難しいという面があり、このような営業時間となっています。

品揃えについては、季節に応じて変えたり、極力廃棄を抑えるように発注していますが、品揃えについてご要望があります。

たら検討します。また、英語表記については商品案内、説明的なものも必要と思えますので検討します。(東地域事業課長)

③和歌山県に国道の草刈りを年2回実施してもらおうように要望しているが、他の市町村の兼ね合いもあり難しいようです。

村としても観光客の多い時期にはなるべく対応していくよう検討したいと思えます。

不動峠の草刈りを七色地区に委託しているように、各地区での対応についても検討します。

(北岡産業建設課長)

カヌー大会、ラフティング大会などスポーツイベントについての村長の考えをお聞きたい。

【答弁】スポーツイベントについては今後も継続して支援していきます。近年、大会については盛り上がり欠けると感じています。ラフティング事業は観光協会のPR活動で頑張っていたとき、実行委員会が大会あり方を検討していただくよう要望していきます。スポーツイベントは北山三村の連携の中で交流などを企画したいと考えています。

(山口村長)

一般質問
 おくとろ温泉を活用した高齢者への
 配食サービスの実施について
 前岡 武津雄

【質問】80歳以上の高齢者の方々は北山村に100人程度いるが、その方々に、補助金を出してお弁当を配食してはどうか。

現在、社会福祉協議会がおこなっているボランティアによる手作りのお弁当は年に3回配食されているが、これとは別に残り9回を村から半額補助をして希望者に配食してはどうか。

給食サービスは1食500円前後と聞いている。2000円は自己負担として、おくとろ温泉で弁当を配食すれば、温泉の収入にもなると思う。

今の北山村があるのは、先輩たちのおかげです。これからは高齢者がいかに元気に健康で、在宅で過ごせるか、村から弁当の半額補助を出すことによって、少しでも生活援助になると思っていますので検討していただきたい。

おくとろ温泉が民営化になるが、実現できる体制をとっていただきたい。

【答弁】現在、社会福祉協議会でボランティアとして実施していたらいいという給食サービスがありますので、社会福祉協議会とも相談して考え方を聞く必要があります。

また、おくとろ温泉の営業として実施する場合、弁当の単価の問題、配達の手間や人件費の問題、希望者を把握する方法の問題があり、事務的な体制も整えなくてはなりません。

村で補助をするためには補助要綱など制定し、予算として議会の承認が必要になります。

今後、社会福祉協議会への相談とおくとろ温泉の営業に対して福祉的な観点からの取り組みができないか働きかけをしたいと思っていますので、もう少し時間を頂きたい。(山口村長)



一般質問
 コロナウイルスへの対応について
 久保 学

全国的に各種イベントが中止されている状況である。北山村における今後のイベント等についても、村外から招待する行事はできるだけ自粛するべきではないか。

【答弁】今のところ収束する見込みがないので、観光筏下りの開航式、前夜祭は中止とします。オトノリでの安全祈願のお祓いは実施します。4月1日から観光筏の受付が始まりますので、受付は行います。運航できるかどうかについては、4月中旬に判断したいと考えています。(5月中の観光筏は中止となっています。)(東地域事業課長)

【答弁】4月19日に予定していたじゃばらいず北山の発足式は中止として、その都度、状況を見ながら判断していきたい。(山口村長)

感染防止対策のマニュアルはあるか？また、発生した場合の対応として防護服を準備しているか。

【答弁】マニュアルは保健所の指示で対応することになるが、

心構えとして、すぐに消毒する、濃厚接触者を把握するなど緊急の対応となる。感染した場合の防護服等は準備している。(山口村長)

今後、誰が感染してもおかしくない状況であるが、感染者が出た場合の対応やケアについてどう考えているか。

【答弁】感染者への対応、ケアも大切だと認識している。県内で発生した湯浅も風評被害があったので、そのようにならないように保健所とも協議しながら対応したい。(山口村長)

感染者が出た場合の対応として隔離して診療、防護服の着替えをするための施設が必要ではないか。ふるさと納税の資金を使い診療所の下に仮設の建物を建ててはどうか。

【答弁】隔離して診療するための建物の建設については今後検討していきたい。(山口村長)

薬ができるまで安心感が生まれない。終息まで今後2年くらいはかかると思う。

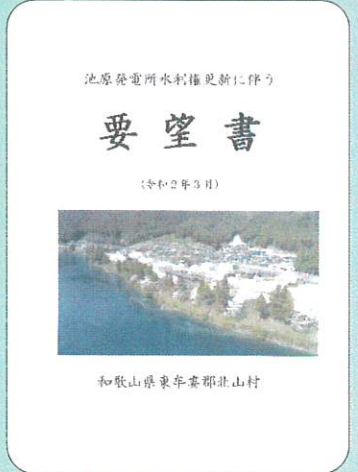
池原発電所に係る水利権更新の要望のため
 電源開発株式会社 西日本支店へ

池原発電所の水利権は令和2年3月をもって更新となります。前回の更新から30年が経過しており、ダム運用については様々な問題が起こっています。今回の水利権更新に当たり、幅広く村民の意見を取り入れるため、村内の各種団体から意見を聴取し、村から電源開発株式会社に対する要望書を作成いたしました。

3月27日(金)、大阪市の電源開発西日本支店に村長 議長が要望書を提出しました。本来であれば、議員全員で要望活動を行うところですが、コロナウイルス感染対策として、議会からは議長のみが出席しました。

要望の主な内容については以下の通りです。

- ダム決壊時の防災対策 ○消防水利の確保のため河川へのスロープの設置
- 観光筏下り等観光事業の中止に対して補償金を要望 ○地元雇用の促進
- 七色・竹原地区についても浸水地域とすること ○濁水対策
- 水位を観測するためのライトの設置と無停電化 ○堰堤の撤去
- 旧小学校跡地など電源用地をじゃばら農園として使用できるように
- 渡大橋架設に向けた要望に対する協力 ○停電時における電力供給
- 適正な維持放流の実施 ○線下土地に係る補償の継続
- 消火活動のための電源開発所有の船舶の貸与
- 七色ダム付近に消防用道路及び消防艇係留施設の新設
- 工事の際には地元住民に対しての連絡を怠らないこと
- ダム放流に関するサイレンがよく聞こえるように
- 七色ダム下流での置き砂事業を要望 ○小松の河川での置き砂事業の継続
- 宅地造成等に対する協力 ○北山村地域振興計画への協力



**東日本大震災から9年
議場で黙とうを
ささげました**

3月定例会中の11日、議員や村長、職員ら出席者は議場において約1分間の黙とうをささげ、東日本大震災の犠牲者を追悼しました。

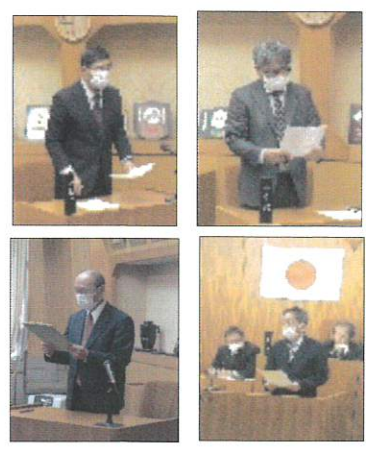
震災から今年で9年となるこの日、会議の前に久保隆俊議長呼びかけで黙とうが行われました。

**新型コロナウイルスの
感染拡大を防止する為、
議員・職員が議場でも
マスクを着用して議論**

まだまだ世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、北山村議会でも感染拡大防止の対策としてマスクを着用しての議会となりました。

村内でのイベントの中止が相次いでおり、一般質問でも感染対策について議論が行われるなど大きな問題となっています。

今後も、観光筏下りの運航、おくとろ温泉の運営、福祉事業や学校の運営についてもどうするのか、住民生活の安定に向けて行政及び議会での検討が必要



となっています。

**各区からの陳情箇所の
視察を行いました。**

4月20日、総務建設常任委員会が開催され、各区から陳情箇所の視察を行いました。

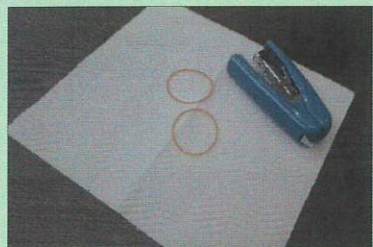
陳情箇所は4月8日に各区長、役員が村長、議長に対して陳情したもので、現地視察の際には各区長が立ち合い説明を行いました。

また、陳情箇所の内、県に要望する箇所については、午後から藪本英明委員長が、村長、北岡産業建設課長と共に、新宮建設部に要望活動を行いました。



議会の防災の知恵袋 No. 7

今回は「手作りマスク」についてです。コロナウイルス感染対策に関しては、マスクや消毒薬のほかに、トイレ紙ペーパーなどもスーパーから消えました。学校が休校になったり、自宅で仕事をするテレワーク、また、外出すると感染する危険が増えることから、自宅で過ごすことが多くなり、食料品の買いだめなども多くなっています。改めて普段からの備蓄の大切さを実感しました。さて、今回の防災豆知識は、簡単にできる「手作りマスク」の作り方です。マスクは、ウイルス感染予防だけでなく、災害時にもホコリ、粉塵から守ってくれる防災の必需品です。手作り品で「万が一」の災害に備えましょう！用意するものは、キッチンペーパーと輪ゴムとホチキスだけです。キッチンペーパーをじゃばらに折り、両側に輪ゴムを付けてホチキスで止めるというもので、とても簡単につくることができ、ホチキスの位置で大きさも調整できます。ハンカチやガーゼにしたり、ゴムを肌触りいいものに変えるなど工夫してみてください。感染症に対するマスクの効用は、ウイルスの飛散防止のほか、口や鼻を手でさわらないことです。



用意するものは キッチンペーパーと輪ゴムとホチキス



キッチンペーパーじゃばらに折り、輪ゴムをホチキスで止める



広げて完成！

議会日誌

2月

- 4日 議会だより編成委員会 (役場)
- 13～14日 和歌山県町村議会議長会正副議長、事務局長研修会 (和歌山市)
- 13日 紀南環境衛生臨時総会 (新宮市)
- 17日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会 (和歌山市)
- 19日 新宮周辺市町村圏広域事務組合議会 (新宮市)
- 21日 総務建設常任委員会 (役場)

3月

- 4日 議会運営委員会 村民会館会議室
株式会社じゃばらいず北山取締役会 (地域事業課会議室)
- 6日 議員全員協議会 村民会館会議室
- 9日～11日 3月定例会 (役場)
- 27日 電源開発(株)西日本支店への水利権の更新に関する要望 (大阪市)

4月

- 8日 各区からの陳情 (役場)
- 16日 総務建設常任委員会 (役場)
- 20日 各区からの陳情箇所の視察 (村内)
- 24日 東牟婁郡町村議会議長会総会 (新宮市)
- 24日 東牟婁郡町村議会議長会総会 (那智勝浦町)

5月以降の予定

5月

- 20日 和歌山県町村議会議長会 (和歌山市)
- 中旬 総務建設常任委員会 (役場)

6月

- 中旬 議会運営委員会 (役場)
- 議員全員協議会 (役場)
- 6月定例会 (役場)



写真は3月27日に大阪市の電源開発(株)西日本支店での水利権更新に伴う要望書提出の様子です。前回の更新から30年ぶりの更新であり、次回の更新は20年後となります。

議員のひょうご

静かにその時を待つ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で東京五輪の開催が1年間延期となり、北山村としても政府の緊急事態宣言に伴い、温泉、レストラン、コンビニ、キャンプ場等村関係施設は全面休業という事態となりました。

しかしワクチン開発、治療薬開発が急速に進んでいるという事で、私達村民は冷静に状況を把握し誤った情報に惑わされる事なく、日々の生活をゆとりを持って粛々と送りたいものです。言うまでもなく、マスク、手洗い等衛生面に十分気を付けて、飛沫感染(口から)、接触感染(手から)のリスクが高まらないようにし、危機感を常に持ちつつ静かに嵐が過ぎ去るのを待つのみです。

桜咲くとき

さて、コロナの影響で村外に出かけるのもままならない今日この頃、私事なのですが、最近大沼シニアクラブの新会員となりました。シニアクラブと言えば、私にとって異次元の世界と思っていましたが、某先輩の強い強い勧めで引き込まれてしまいました。昨日まで青年だった私が一晩寝て起きたら前期高齢者となっていて、おどろおどろしい未知の世界に足をふみ入れた感じがします。

しかし満開の春の心地よい日差しの下、そうそうたる大沼区の長老、女性、大先輩方と花見の会を開き、おくころ温泉特製の弁当を食べながら楽しい昼を過ごさせてもらいました。

遠くで山桜も咲き、生命力を蘇らせる季節のサイクルを感じ、いかなる災害、苦難が来ようとも春は必ず巡ってきて、野や山に花を咲かせてくれるでしょう。

「ふるさとへの山に向いて言いたいことなし、ふるさとへの山は有難きかな」

来年も北山村に必ず春がやってくるのです。大沼シニアクラブの皆様有難うございました。そして村民の皆様のご健勝をお祈りします。

北山村議会議員 山口 廣一郎